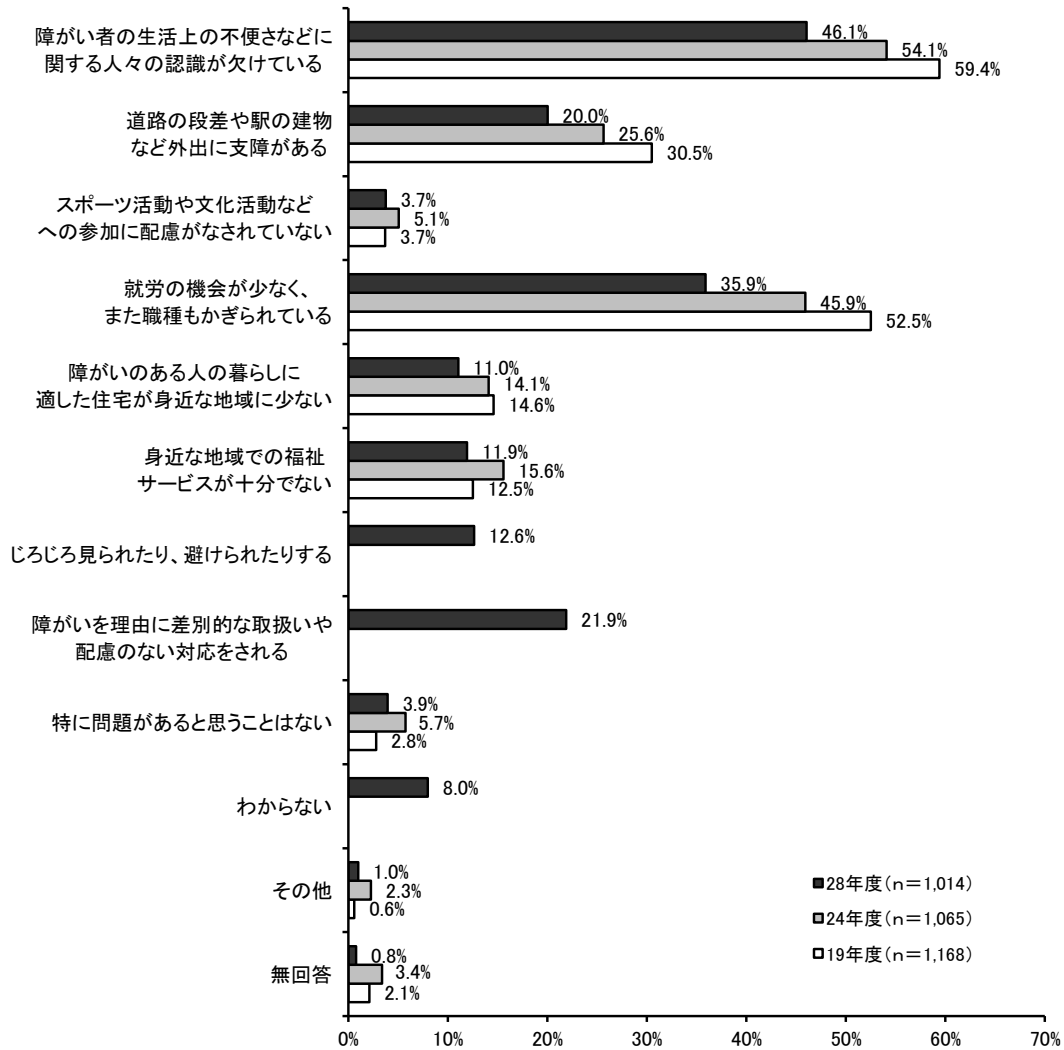


3-5 障がい者の人権について

(1) 障がい者の人権問題で、特に問題があると思うこと

問13 障がい者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。



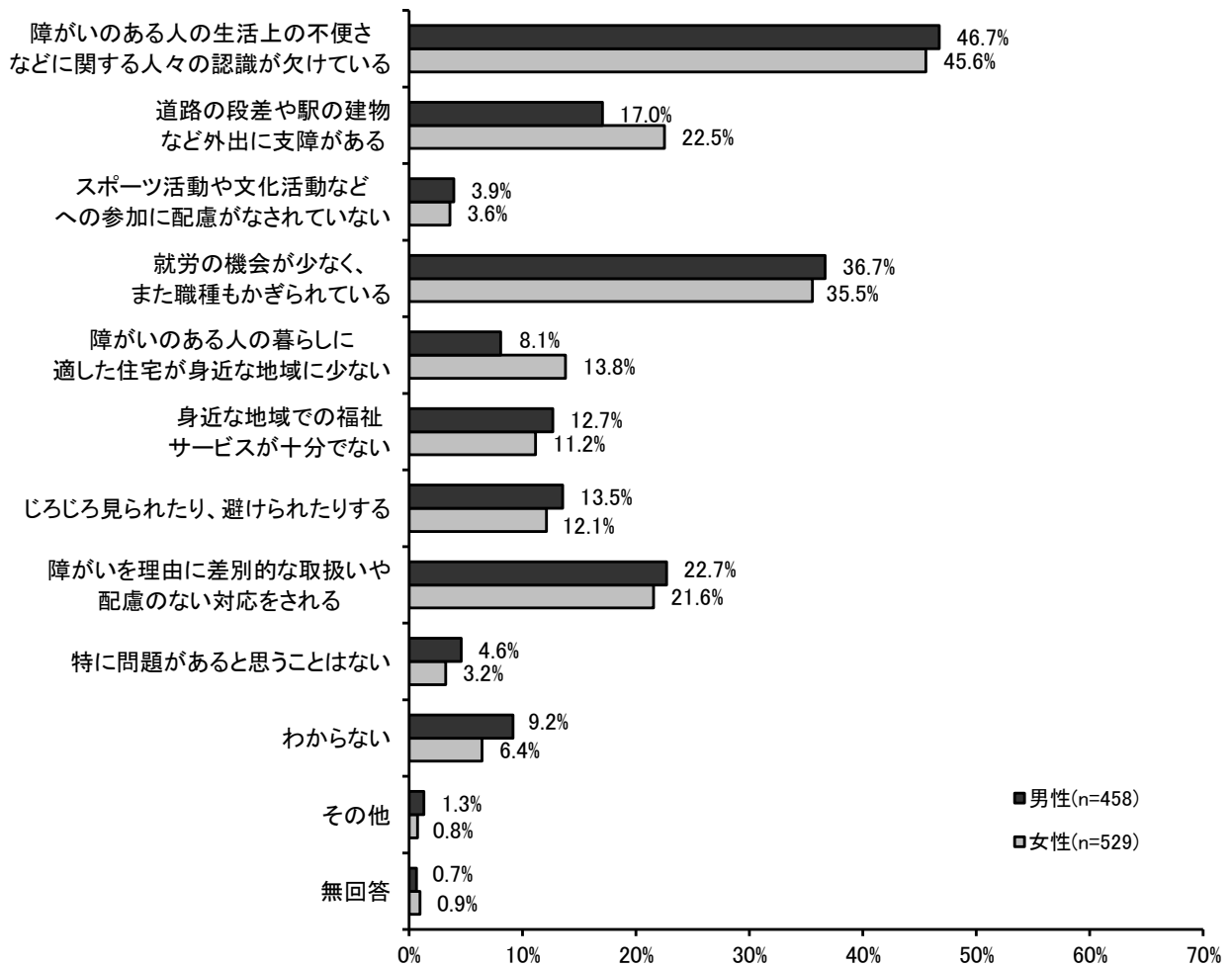
■「障がい者の生活上の不便さなどに関する人々の認識が欠けている」が46.1%で最も高く、次いで「就労の機会が少なく、また職種もかぎられている」が35.9%、「障がいを理由に差別的な取扱いや配慮のない対応をされる」が21.9%の順となっている。

【前回・前々回比較】

■「就労の機会が少なく、また職種もかぎられている」は前回より10.0ポイント、前々回より16.6ポイント、「障がい者の生活上の不便さなどに関する人々の認識が欠けている」は前回より8.0ポイント、前々回より13.3ポイント減少している。

※「じろじろ見られたり、避けられたりする」「障がいを理由に差別的な取扱いや配慮のない対応をされる」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

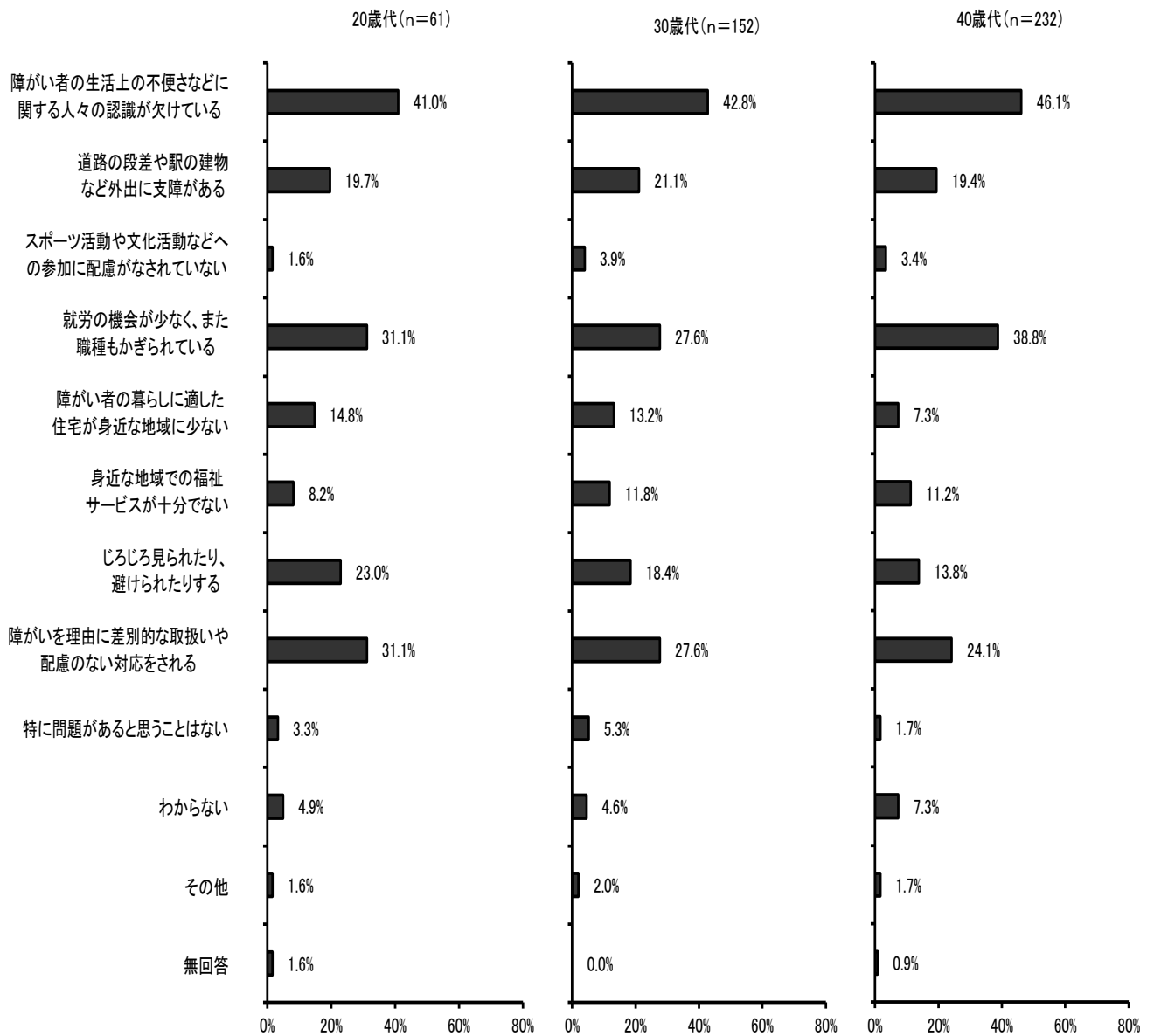
男女別

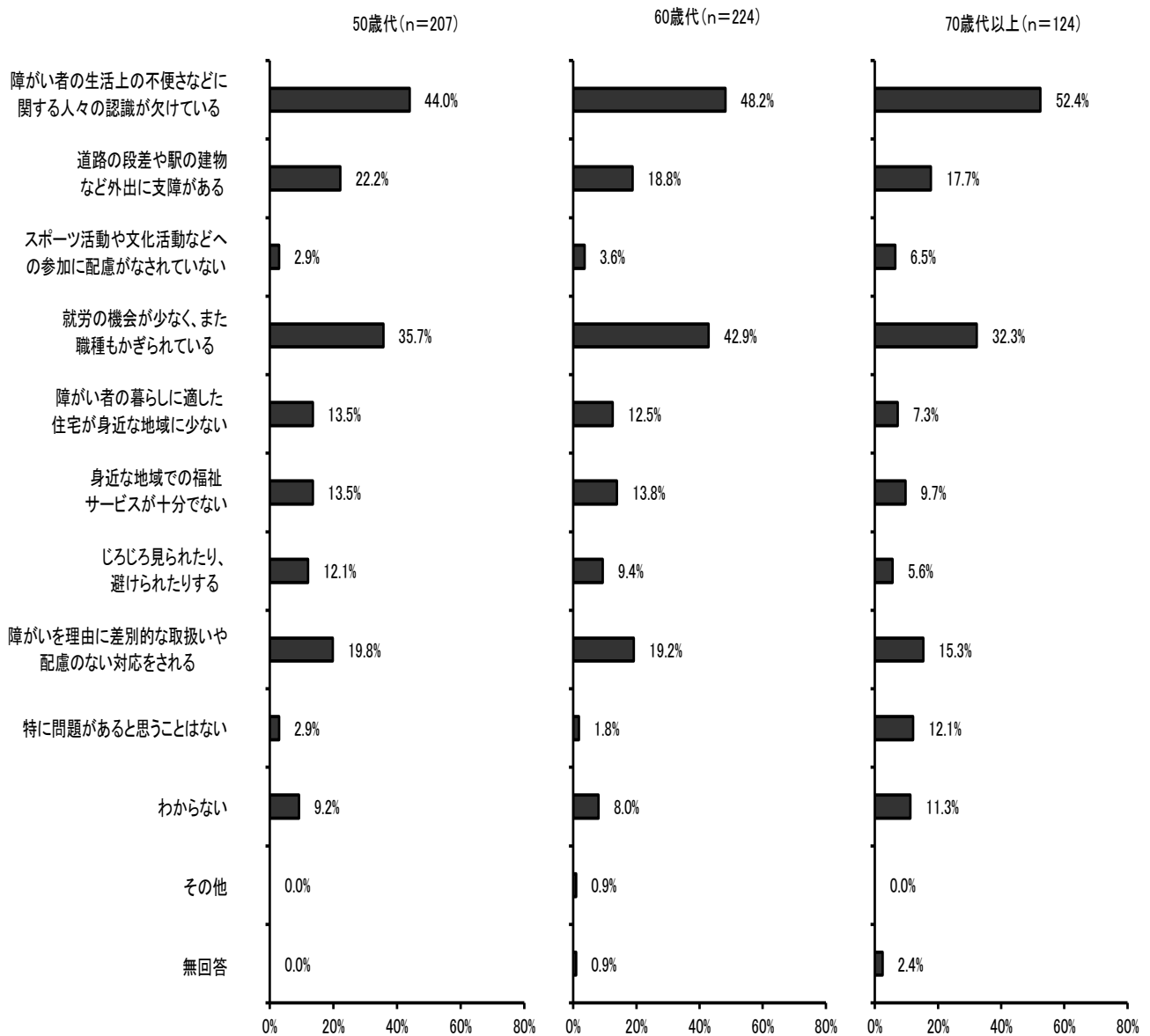


■男女共に「障がい者の生活上の不便さなどに関する人々の認識が欠けている」の割合が最も高く、次いで「就労の機会が少なく、また業種も限られている」の順となっている。

■「障害がある人の暮らしに適した住宅が身近な地域に少ない」の割合は、男性の8.1%に対し、女性が13.8%と高くなっている。

年代別

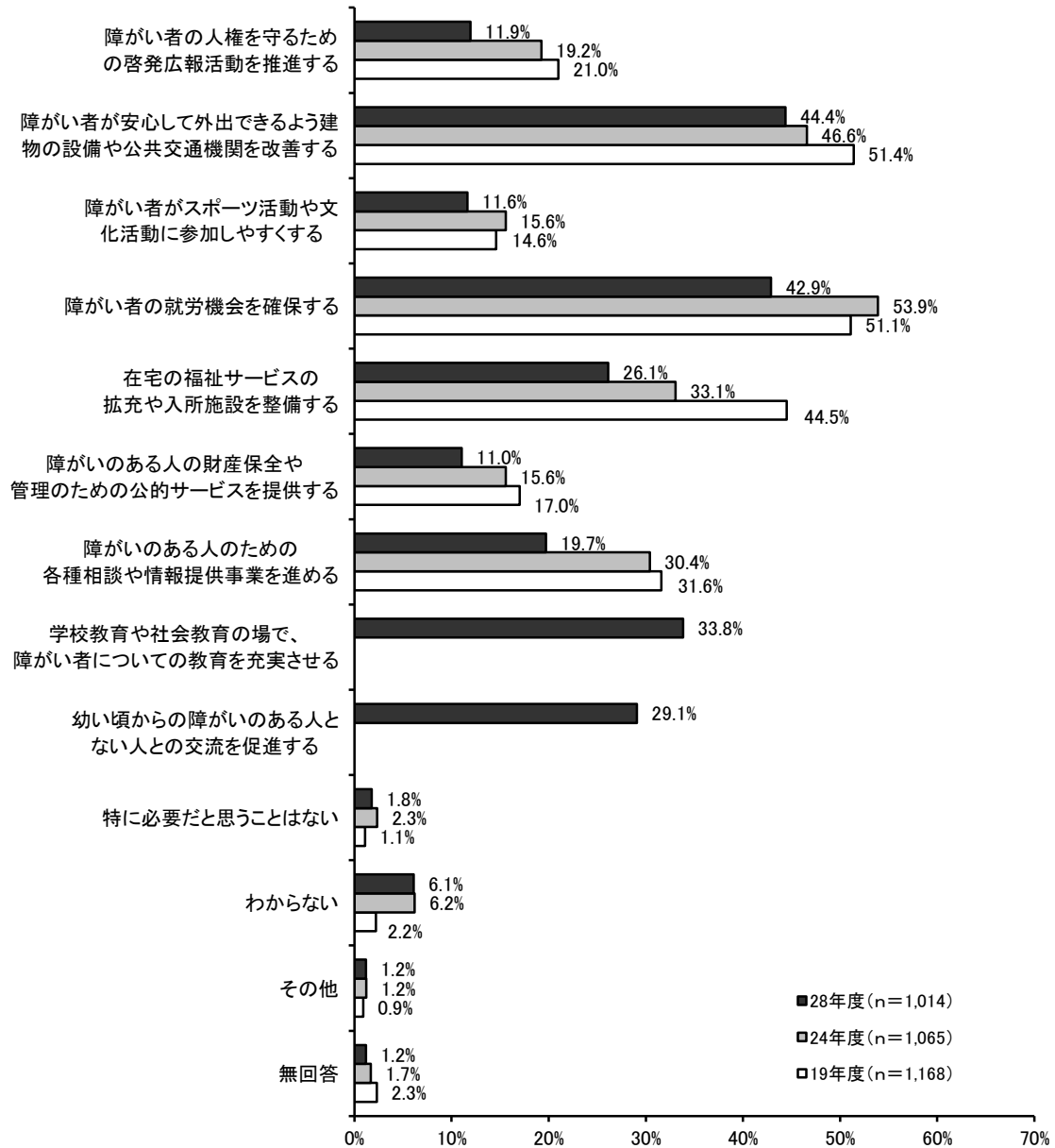




■「障害を理由に差別的な取扱いや配慮のない対応をされる」は、20歳代で3割といずれの年代に比べて高くなっている。

(2) 障がい者の人権を守るために必要なこと

問14 障がいのある人の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。



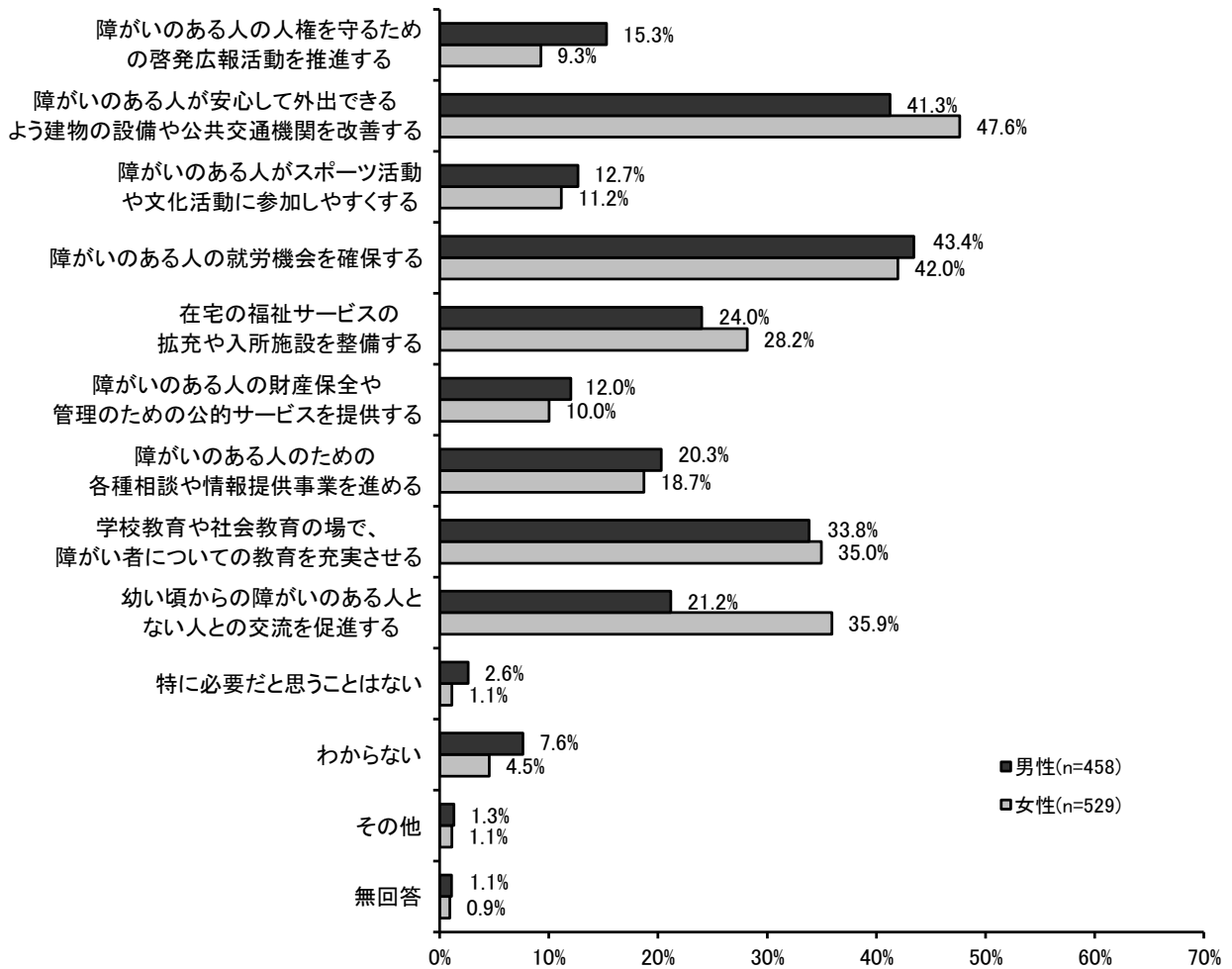
■「障がい者が安心して外出できるよう建物の設備や公共交通機関を改善する」が44.4%と最も高く、次いで「障がい者の就労機会を確保する」が42.9%、「学校教育や社会教育の場で、障がい者についての教育を充実させる」が33.8%の順となっている。

【前回・前々回比較】

■「障がい者の就労機会を確保する」が前回の53.9%より11.0ポイント、「在宅の福祉サービスの拡充や入所施設を整備する」は前々回の44.5%より18.4ポイント減少している。

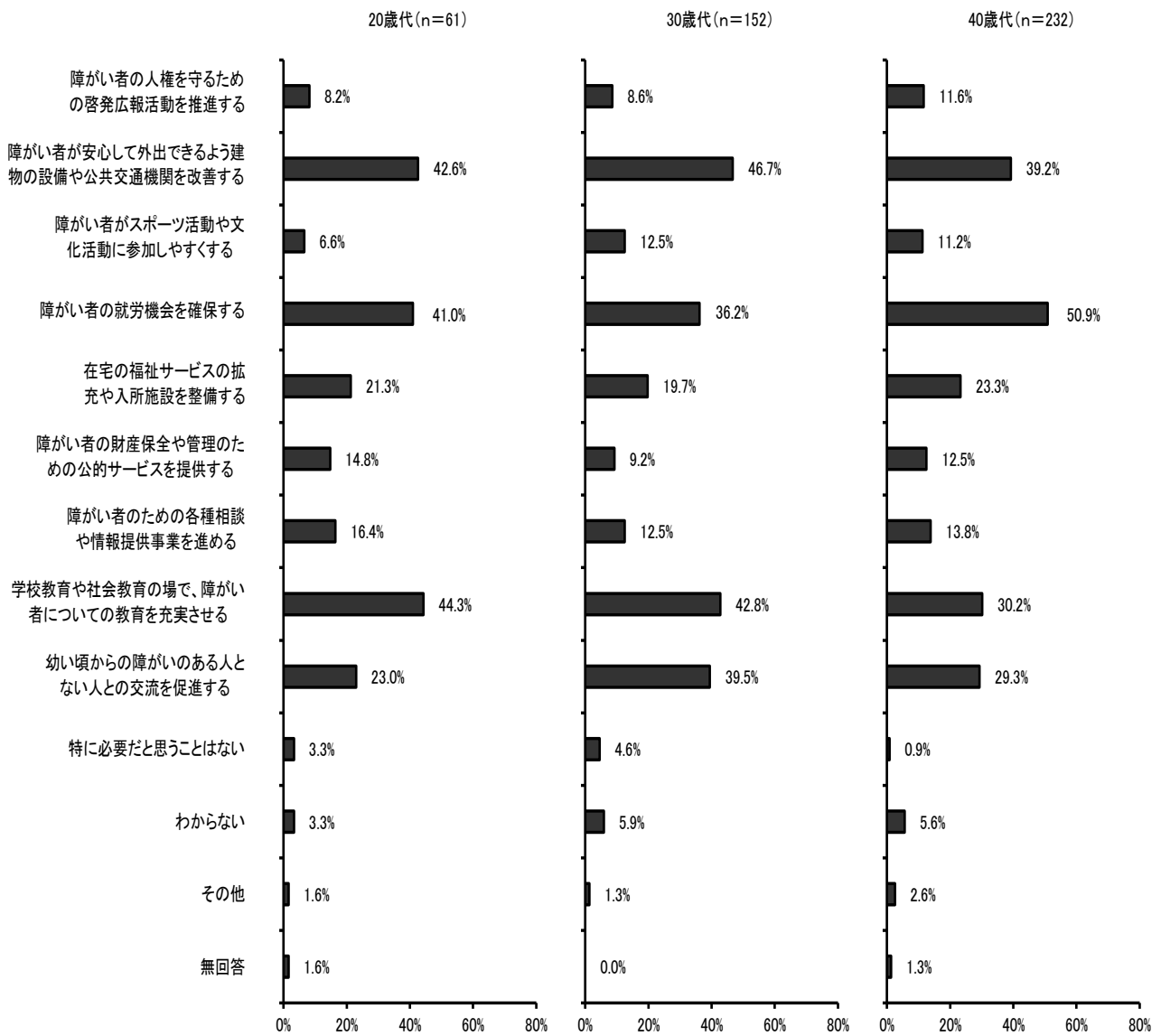
※「学校教育や社会教育の場で、障がい者についての教育を充実させる」「幼い頃からの障がいのある人とない人との交流を促進する」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

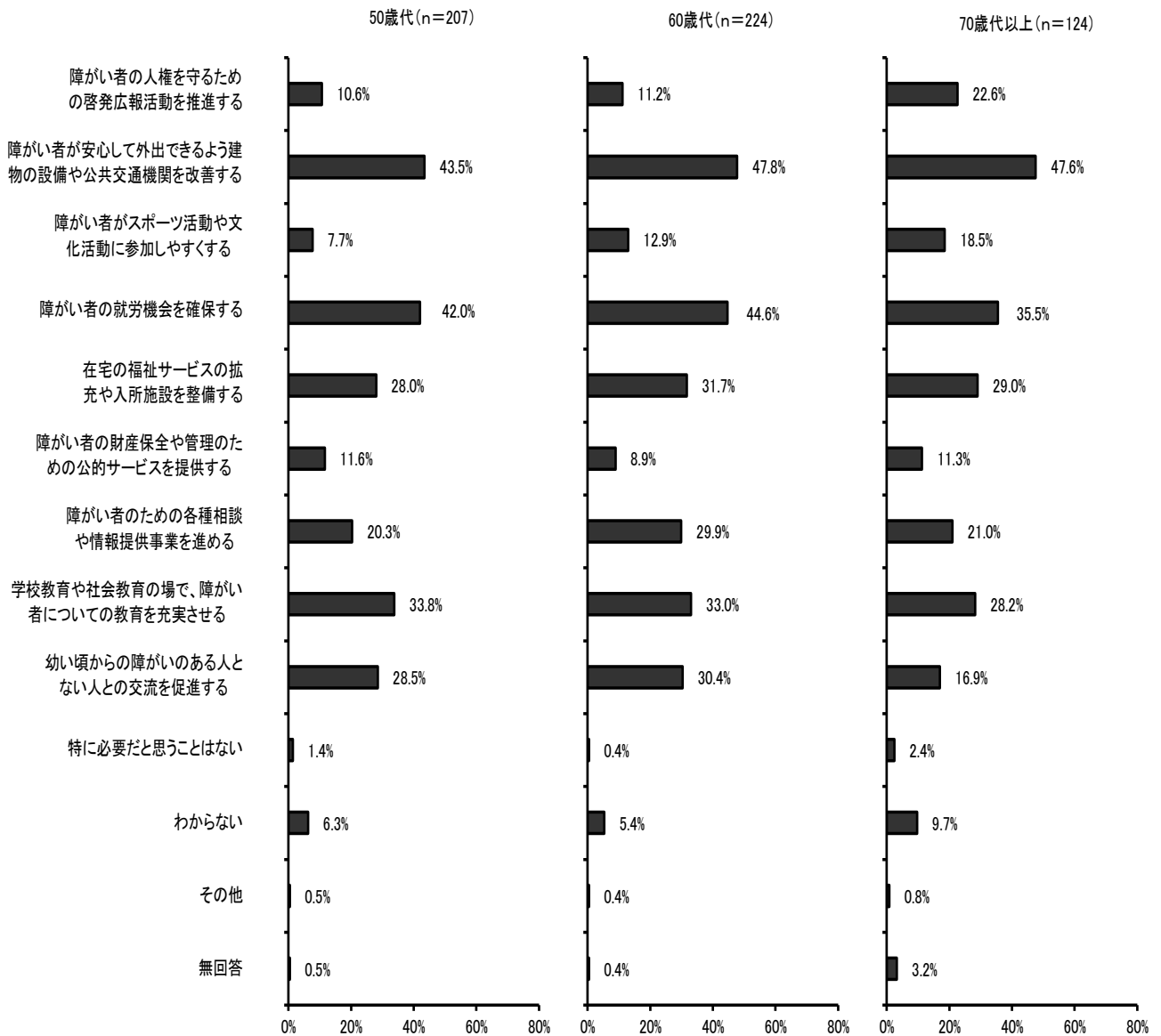
男女別



- 男性は「障がい者の就労機会を確保する」、女性は「障がい者が安心して外出できるよう建物の設備や公共交通機関を改善する」の割合が最も高くなっている。
- 「幼いころからの障がいのある人とない人との交流を促進する」は男性の21.2%と比べると女性が14.7ポイント高くなっている。

年代別





■「幼いころからの障がいのある人とない人との交流を促進する」は、30歳代が約4割といずれの年代に比べ高くなっている。

